

登録コード	ASK01500	開講年度	2026				
授業科目	動物資源生産学特論					担当教員	上野 豊
英文授業名	Advanced Lecture in Animal Science and Technology					副担当	徳武 優佳子
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・2時限	対象学生	1年次生
講義室	農学部 1 2 番講義室		授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。					修士学生に相応しい、基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得できる	
	【2025年度以降のカリキュラム対象】【専攻】国際性と地域性に根差し, 環境と調和した持続的生産に関わる知識と技術を修得している。					修士学生に相応しい、国際性と地域性に配慮した、環境と調和した持続的生産に関わる知識と技術を修得している	
授業の概要	動物の栄養・飼料および生産に関する各分野における基礎から最新のトピックまでを概説し、動物生産技術について理解を深める。						
Contents:	#1-5 Evolutional aspects in animal resources production -- Milestones where animal husbandry have passed -- Road to innovation in animal production_ cattle -- Road to innovation in animal production_ swine and poultry -- Less input, high output -- The future prospects and implications #6-10 Animal resources production and environments #11-15 Nutritional Physiology and Cellular Biology -- Nutritional physiology_fundamental research -- Nutritional physiology and animal production -- Cellular biology_fundamental research -- Cellular biology and animal production -- Summary and conclusion						
授業計画	第1回：動物生産技術はいかに発展してきたか（上野） 第2回：動物生産への新しい技術の導入1 酪農・肉用牛（上野） 第3回：動物生産への新しい技術の導入2 養豚・養鶏（上野） 第4回：さらなる効率畜産への取り組み（上野） 第5回：動物生産技術の将来を描く（上野） 第6回：動物資源生産と環境1（上野） 第7回：動物資源生産と環境2（上野） 第8回：動物資源生産と環境3（上野） 第9回：動物資源生産と環境4（上野） 第10回：動物資源生産と環境5（上野） 第11回：栄養生理学的視点から動物生産を考える1（徳武） 第12回：栄養生理学的視点から動物生産を考える2（徳武） 第13回：細胞生物学的視点から動物生産を考える1（徳武） 第14回：細胞生物学的視点から動物生産を考える2（徳武） 第15回：総括（徳武） 第16回：試験またはレポート（上野）						
成績評価の方法	レポート、発表及び討議内容から総合的に評価する。90点以上を「秀」、89～80点を「優」、79～70点を「良」、69～60点を「可」、59点以下を不可として評価する。						
成績評価の基準	次の評価基準に基づき成績評価を行う。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある 可：授業の達成目標の水準にある 不可：授業の達成目標の水準より下にある						
事前事後学習の内容	担当教員が適宜指示する。						
履修上の注意	開講日等については指導教員に確認すること。						
質問,相談への対応	担当教員が授業時に、直接受け付ける。						
学生へのメッセージ							
【教科書】	必要に応じて資料を配布する。						
【参考書】	特になし						